

看護学科 専門教育科目 概要（令和6年度第1～3学年適用）

	科目名	概要
3年後期～ 4年前期	地域包括ケア実習	実習Ⅰ：訪問看護事業所での実習 地域で生活する療養者とその家族の特徴とニーズを理解し、生活の質の維持向上を目指した在宅看護を提供するための基礎を養う。 実習Ⅱ：医療機関の地域連携部門・入退院支援部門での実習 病気や障がいきっかけに生活の場を移動する療養者とその家族の特徴とニーズを理解し、生活の質の維持向上及びチームケアに必要な継続看護マネジメントを実践する基礎を養う。
	健康回復支援実習Ⅱ	実践的な実習体験をするために、看護チームの一員として複数の患者を受け持ち、疾患の治療や退院後の生活支援のために必要な看護の調整役割ならびにチーム医療について実践的に学ぶ。
4年前期	看護管理論	看護管理論では、医療・看護をとりまく環境をふまえ、社会のニーズに対応した質の高い看護の提供のために、看護実践があるところすべてにおいて必要であるマネジメントの諸機能について学ぶ。これらを通して、看護職に求められる役割と責務について探究する。
	皮膚・排泄ケア	人工肛門、人工膀胱の造設や褥瘡などの創傷及び失禁に伴って生じる問題をアセスメントしてケアするための知識・技術を学習する。
	多文化看護論	グローバルな視野に基づき、日本国内外において、看護師として異なる文化的背景を持つ人々に対して、文化を考慮した看護の提供ができるようになるための知識・技術・態度について学ぶ。
4年後期	公衆衛生学Ⅱ	我が国の高齢者保健・疾病障害統計・精神保健・食品保健・環境保健・産業保健に関し、公衆衛生的・疫学的視点から説明できるようになることを目標とする。また保健統計に関し、計算法を含んだ知識を習得する。保健統計で使われる諸手法について、説明できること、データを使用した基本的な統計解析ができることを目指す。
	セーフティマネジメント論	セーフティマネジメントは、安全で良質な医療を提供するために必要不可欠である。本講義では、医療提供場面におけるセーフティマネジメントについて、医療安全、感染管理、災害看護、の側面から学修する。
	人々の暮らしを支援する実習	人々の望む暮らしの継続とQOLの維持・向上を目指し、環境や人々のニーズに応じた具体的な看護実践を学ぶ。また、地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種との連携の在り方や看護の役割を実践的に学ぶ。
	看護総合講義	看護学の集大成の科目である。これまでの学修を振り返り、自己の学修成果の確認のために、看護学に関する基礎および専門分野を総合的に学修する。
	卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅰでの学びを基盤として、研究する上で不可欠な文献クリティークの方法を学ぶ。そのうえで、既習の諸学を通して得た知識を活用しながら看護実践を研究的視点で捉え、研究テーマに発展させる力を養うために、研究計画書の作成までの過程を学ぶ。